特集 広報たはら創刊600号記念

親しまれ 愛される 広報紙へ!

昭和30年に「田原広報」として産声を上げた田原の広報紙。まちの様子を伝えながら皆さんの暮らしとともに歩み、今月で記念すべき600号を迎えました。

合併を経て、新たな魅力を展開する「広報たはら」。このページでは、3町(田原・赤羽根・渥美)時代の広報紙を振り返りご紹介します。

今後も広報紙の役割を考え、「一番身近な暮らしの情報紙」として、より多くの人に読んでもらうように努めていきます。今後も、 皆さんの一層のご支援・ご協力をお願いします。
▶文書課☎23局3728

「広報たはら」のあゆみ

1955-

創刊号 昭和30年2月1日
『田原広報』が創刊。タブロイド版の両面2ページ。1月に田原町、神戸村、野田村が合併し、新「田原町」となった記念号。当時の役場は5課1局。

▲第1号

100号 昭和39年1月1日
平和で明るい住みよい町(郡)を実現するため、田原中部小学校に約6000名が集まり、暴力追放推進会が結成され、暴力追放総けっ起大会を開催。

139号 昭和43年5月15日
タブロイド判からB5版に。

200号 昭和48年9月1日
心のふれあうコミュニティづくりとして、東部地区(六連・谷熊・豊島)が、国・県のモデル地区に指定される。住民自らの計画による新しい地域づくりを実施。

300号 昭和57年2月1日
現代青年思考と題して、18歳以上から25歳未満の全町民にアンケートを実施。「70%以上がわが町に愛着!」「若者の結婚観」など、回答率は約75%。

400号 平成2年1月1日
「田原いまむかし」と題し、田原町の街並みや建物、交通、教育、産業、災害など過去の写真・現在の写真を掲載。

476号 平成8年5月1日
B5版からA4版に。

500号 平成10年5月1日
年代別に広報たはらの歴史を振り返る。また、もうひとつの広報たはらとして、目の不自由な方に朗読してくれるボランティアのグループを紹介。

564号 平成15年9月1日
田原町と赤羽根町の合併/「田原市」広報第1号。

584号 平成17年5月1日
全ページカラー化。

589号 平成17年10月1日
田原市と渥美町の合併/新「田原市」広報第1号。